

グローバル人材の育成に向けたESDの推進事業

30年度予定額:50百万円(29年度予算額:56百万円)

多様なステークホルダーの参画によるESDコンソーシアムの構築と、「ESDの深化」を図る高度なESDの実践を通じて、持続可能な社会づくりの担い手を育成し、地域のSDGs達成の推進に寄与する。

①ESDコンソーシアム事業【継続】

◆ 目的・内容

- 教育委員会及び大学が中心となり、ESDの推進拠点であるユネスコスクールとともにESDコンソーシアムを形成し、地域のESDの実践・普及及び国内外におけるユネスコスクール間の交流等を促進。

◆ 申請者

- 教育委員会又は大学。30年度は新規採択を行わない(継続案件のみ申請可)。

◆ 補助期間

- 30年度

②ESDの深化による地域のSDGs推進事業【新規】

◆ 目的・内容

- ESDに携わる多様なステークホルダーがチームを形成し(ESD-SDGsコンソーシアム)、ESDの深化を図る高度なESDの実践を通じて、持続可能な社会づくりの担い手を育成し、地域のSDGsの推進に寄与する。

<事業メニュー>

- ① ホールスクールアプローチの全国的な普及・推進
- ② 学校教員及びユース世代のESDの実践力強化
- ③ 地域のSDGs達成に向けた課題解決のためのESDの実践
- ④ ユネスコ事業との連携によるESD/SDGsの推進

◆ ESD-SDGsコンソーシアム

- ESD推進に関する専門的知見、実績、教育資源、ネットワーク等を有する団体が中心となり、事業の実施に必要なリソースを有するステークホルダーとともにコンソーシアムを形成。

◆ 補助期間

- 30年度

ESD-SDGsコンソーシアム (イメージ)



連携

ESD活動支援センター

- 全国センター又は8つの地方センターと連携・協力関係を築き、事業を実施することが望まれる。

- 連携促進の観点から、コンソーシアムとして、「地域ESD活動推進拠点」への登録が望まれる。

